

66 増養殖対策

【865(863)百万円】

対策のポイント

- ・ウナギ資源の回復と安定供給を図るため、生息状況などの調査や遺伝情報を活用した系群判別等の技術開発の実施、資源増殖の取組を支援します。
- ・サケ資源の回復と安定供給を図るため、稚魚の動態調査等により、減少要因を明らかにした上で、ふ化放流手法の改良を実施します。
- ・資源・環境に優しいクロマグロ増養殖の実現に必要な技術開発、広域種の種苗放流による資源造成等を支援します。

<背景/課題>

- ・我が国の漁業生産量がピーク時から半減している中で、消費者に対して水産物を安定供給していくためには、水産物の増殖及び養殖を一層推進する必要があります。

政策目標

主な栽培漁業対象魚種及び養殖業等の生産量1,739千トン（平成34年度）

<主な内容>

1. ウナギ対策関連事業 183(41)百万円

ウナギ資源の回復と安定供給を図るための以下の取組を支援します。

- ① ウナギの生息状況調査及びシラスウナギの来遊時期の調査
- ② 遺伝情報を活用した系群判別などの技術開発
- ③ ウナギ資源の増殖のための放流、海外の養鰻業者との資源管理に関する協議
- ④ 異種ウナギを国内で養殖する場合の逸散防止手法の開発
- ⑤ ウナギを含む内水面資源の棲息環境の改善や放流用種苗の育成の手法等を開発

鰻供給安定化事業 155(20)百万円
健全な内水面復元等推進事業のうちウナギ対策関連事業 29(21)百万円
補助率：委託、定額、1/2以内
事業実施主体：民間団体等

2. 増殖に関する支援事業 312(304)百万円

サケ資源の回復と安定供給を図るため、降海後の沿岸域における稚魚の動態調査等により、減少要因を明らかにした上で、ふ化放流手法の改良を実施します。高品質なさけ・ます資源の造成のための放流適地の調査広域に移動する魚種の種苗放流による資源造成について支援します。

太平洋サケ資源回復調査事業[新規] 50(一)百万円
さけ・ます資源高品質化推進事業 171(190)百万円
種苗放流による資源造成支援事業 91(114)百万円
補助率：委託、定額、1/2以内
事業実施主体：民間団体等

3. カワウ・外来魚等対策関連事業 169(170)百万円

広域的なカワウの生息状況調査、追い払い及びその捕獲、外来魚の駆除等の取組を支援します。

健全な内水面復元等推進事業(※) 169(170)百万円
補助率：委託、定額、1/2以内
事業実施主体：民間団体等
※ウナギ対策関連事業を除く。

4. 海面養殖に関する支援事業 201(349)百万円

ノリの色落ち防止のための水質管理手法を開発するとともに、資源・環境に優しいクロマグロ増養殖の実現に必要な技術開発を実施します。また、国内産人工種苗を用いた養殖手法の開発を支援します。

持続的養殖生産・供給推進事業 17(47)百万円
海面養殖振興対策事業 184(302)百万円
補助率：委託、定額、1/2以内
事業実施主体：民間団体等

[お問い合わせ先：水産庁栽培養殖課 (03-3501-3848(直))]

増養殖対策の概要

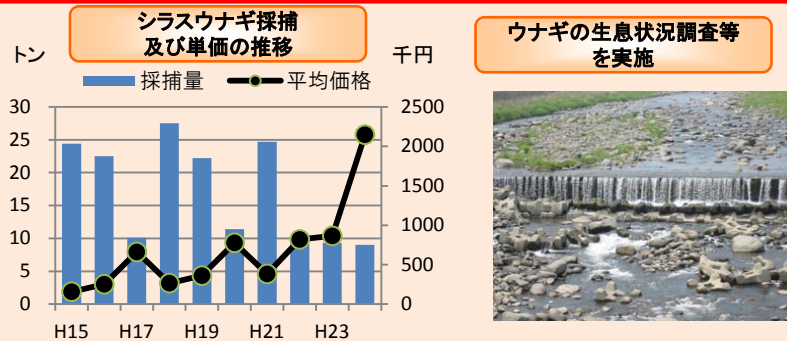
【平成25年度概算決定額:865(863)百万円】

ポイント

- ウナギ資源の回復と安定供給を図るため、生息状況等の調査や遺伝情報を活用した系群判別などの技術開発の実施、資源増殖の取組を支援。
- サケ資源の回復と安定供給を図るため、稚魚の動態調査等により、減少要因を明らかにした上で、ふ化放流手法の改良を実施。
- 資源・環境に優しいクロマグロ増養殖の実現に必要な技術開発、広域種の種苗放流による資源造成等を支援。

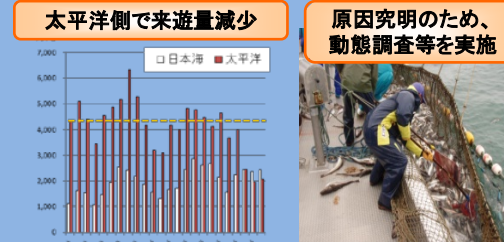
1. ウナギ対策関連事業 183(41)百万円

- ウナギの生息状況調査、シラスウナギ来遊状況調査
- 遺伝情報を活用した系群判別などの技術開発
- ウナギ資源の増殖のための放流、海外の養鰻業者との資源管理に関する協議 異種ウナギを国内で養殖する場合の逸散防止手法の開発
- ウナギを含む、内水面資源の棲息環境を改善する手法、放流用種苗の育成手法等を開発



2. 増殖に対する支援 312(304)百万円

- 降海後の沿岸域における稚魚の動態調査等により、減少要因を明らかにした上で、**ふ化放流手法の改良を実施**
- 高品質なさけ・ます資源の造成のための放流適地調査を支援
- 広域に移動する魚種の種苗放流による資源造成を支援



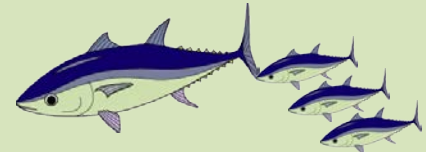
3. カワウ・外来魚等対策関連事業 169(170)百万円

- 広域的なカワウの生息状況調査、追い払い及びその捕獲、外来魚の駆除等の取組を支援



4. 海面養殖に対する支援 201(349)百万円

- ノリ色落ち防止のための水質管理手法の開発
- 資源・環境に優しいクロマグロ増養殖の実現に必要な技術開発の実施
- 国内産人工種苗を用いた養殖手法の開発を支援



国民に対する安定供給の確保
栽培漁業対象魚種、養殖魚種の生産量の回復